

# マイクロダイナミックス

(東京)

## センサー・制御機器の開発・設計・製作で 土木・鉄鋼・自動車などあらゆる産業に貢献!

### 産

業用ロボットなどの多岐にわたる産業機械に組み込まれるセンサーや制御機器の開発・設計・製作で、20年超の実績を有するマイクロダイナミックス株式会社。主にゼネコンや鉄鋼メーカー、自動車メーカーなどの大手企業に技術を提供している。

各社から技術協力の依頼を受け、オーダーメイド品を提供。長岡支店では、主に計測制御ソフトウェアの開発に取り組んでいる。

土木の分野では、トンネルを掘り進めるシールドマシンの排土量管理システムをレール式・リアルタイム式の2種類開発。首都圏をはじめ、仙台・名古屋など地方都市での地下鉄工事などに役立てられている。

「適切な排土量管理は、穴

の掘りすぎによる工事中の落盤事故などを防ぎ、施工品質を高める効果があります」(隈元社長)

鉄鋼の分野では、薄板や特殊鋼などの製造工程で用いられる圧延機の制御システムを開発。全国の製鉄所で導入されている。鉄鋼関連のソフトウェアは、鉄鋼業が著しい成長を遂げている韓国や中国など海外の製鉄所での引き合いも多い。

自動車産業においては、走行中の車両がブレーキをかけた時の減速加速度を測定するアナログGメータを開発。自動車に搭載されているABS(アンチロック・ブレーキ・システム)の検査項目であるブレーキGの測定に用いられている。

「走行テストの際、デジタル式はテストドライバーが

ブレーキGを体感しにくい難点がある。時代に逆行するようですが、この分野ではアナログの技術が重宝されています」(隈元社長)

他にも、全国各地の自治体が運営する一般産業廃棄物最終処分場で導入されている漏水機能診断システムを開発。廃棄物の漏水防止シートにセンサーを取り付け、漏水時に異常電位を感じし土壌汚染などのリスクを防ぐ技術だ。放射性物質などによる土壌汚染対策への応用も期待されている。

### 定年を過ぎた技術者が 長く活躍できる環境を整備

大学卒業後、自動車部品メーカーを経て応力測定機器の総合メーカー、共和電業で技術者としてキャリアを積んだ隈元社長。「いつま



隈元社長(中央)と創業メンバーの2人

でも会社に頼らず、定年を過ぎても働ける会社」をつくるため独立を果たした。

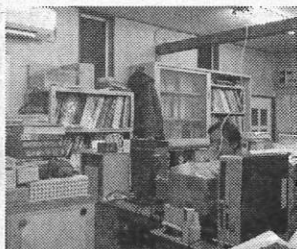
「定年を過ぎても活躍できる優秀な技術者は多い。技術者達が培ったスキルを長く生かせる環境を整えようと考えました」(隈元社長)

1989年の設立以来、バブル崩壊やリーマン・ショックなどの不況も乗り越え、時代のニーズに応じて持ち前の技術力で成長を続ける同社。隈元社長を慕って入社した創業メンバーは、現在も現役で活躍している。

隈元社長は展望を話す。「企業として黒字体質を維持し、将来にわたって続く仕事を残して次世代にバトンを託したいですね」(森)



長岡支店は計測制御ソフトウェア開発に注力



次代を担う若手社員も活躍

### 【会社データ】

本社||東京都調布市飛田給  
1-21-7

☎0042-498-0481

長岡支店||新潟県長岡市宮原3-2-8 宮原ビル2F

設立||1989年12月

資本金||2000万円

事業内容||各種センサーおよび制御機器の開発・設計・製作  
計測制御ソフトウェアの開発  
<http://www.microdynamics.jp>